



学校だより

第192号
令和2年1月8日
北区立桐ヶ丘郷小学校
校長 朝倉 靖雄

2030年の学校の姿

校長 朝倉 靖雄

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願い申し上げます。いよいよ2020年がスタートしました。干支もねずみとなり一周し、1964年から再び東京でオリンピックパラリンピックが開催される今年、何かと今後10年で世界はどう変わるのか、その変化に学校は対応できるのかといった話題が世間を騒がせています。そこで、2030年の学校の姿を予想してみました。

現在のスマホは消滅し、ウェアラブルな通信用デバイスが主流になったスマート社会が実現しています。各層の仕事のスタイルも変化し、AI(人工知能)により現在存在する業務の50%が自動化されています。教育現場も劇的に変化し、AIの中心技術である機械学習がビックデータを利用して、児童一人ひとりの学習能力、進捗状況に合わせながら、個人に最適化したプログラムに沿って学習が進められるようになります。それでは将来、学校の教壇にはAI(人工知能)先生がたつことになるのでしょうか？

アメリカ政府の支援を受けて個別の教育プログラムを近未来的に提供するチャータースクールがあり、全ての授業をオンラインで行うサイバースクールプログラムが実施されているそうです。オンライン授業を受けて学習過程を終えた子どもの学習成果は、実際に学校の教室で授業を受けた子どもに比べ大きく劣っていたとのことです。

そこで、従来の教室の授業での教師の役割が大きくクローズアップされたそうです。子どもが学習する意欲をもつためには、子どもにとってのロールモデルとなる人間が必要なのです。自分ができないことをやって見せてくれる存在、自分が困っていることを一緒に寄り添って見守ってくれる存在、それが子どもの学習能力を向上させ、成長の意欲を生み出すのだそうです。

AI(人工知能)は雑務やルーティン化できる教室の業務を個別に進めることは得意ですが、「子どもにとっての教室=学校を創っていく」のは生身の教師にしかできません。肝に銘じて一年をスタートさせたいと思っています。

今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

1月行事予定

日	曜日	行事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬期休業日終了
8	水	全校朝会 書初め 給食(始)
9	木	安全指導 計測(3、4年、4組)
10	金	計測(5、6年) 委員会
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	避難訓練 計測(1、2年)
15	水	B5時程
16	木	
17	金	体育朝会
18	土	研究演奏会
19	日	
20	月	全校朝会 クラブ クラブ見学(3年)
21	火	
22	水	
23	木	縦割り班遊び
24	金	児童集会 連合展(始)
25	土	公開授業(1~3校時) 保護者会
26	日	
27	月	全校朝会 委員会 社会科見学(5年)
28	火	
29	水	A4時程
30	木	連合展(終)
31	金	社会科見学(4年)

☆音楽室より☆

音楽専科

桐ヶ丘郷小学校では、月1回程度、音楽朝会を行っています。4月から全校で歌声を合わせる活動を行ってきました。元気な歌やしっとりとした歌、中学校でも歌われるような難しい合唱曲も歌いました。集会委員の今月の歌にまつわるクイズもあり、曲に親しみをもって取り組んでいます。

音楽室では楽器を使う学習もあります。楽器によってさまざまな音色を感じ取ったり、速さや強さの違いで曲の感じが変わる面白さを感じ取ったりしながら、表現活動に取り組んでいます。演奏の出来映えも大事ですが、音楽を作っていく過程を楽しめるような活動をしていきたいと思います。

☆3年生 社会科見学☆

12月19日(木)に社会科見学で、荒川知水資料館、王子警察署、北区防災センターに行ってきました。初めての社会科見学に子どもたちは目を輝かせ、真剣にお話を聞いたり、展示物に見入ったりしていました。自分たちの生活は、たくさんの人や物に支えられているということを学ぶことができました。

○社会科見学で、色々なことを学ぶことができました。北区防災センターでは、地震の時は机に隠れること、火事になったらハンカチで口や鼻を押さえなければいけないこと、警察もパトカーだけでなく、ヘリコプターや船も使って安全を守ってくれていることを知りました。

○北区防災センターで煙ハウスの体験をしました。火事になったら煙がどうなるのかが分かって勉強になったし、すごく楽しかったです。

○警察の人たちは、僕たちの町のためにパトロールなどいろいろな工夫をして、生活を守ってくれていることが分かりました。荒川・知水資料館では、岩淵水門があるおかげで台風や大雨から赤羽が守られていることを知りました。

○北区防災センターでは、煙体験をしました。火事のような状況を体験することで、普段の避難訓練の時より、どうやって歩いて避難すればよいのかを学ぶことができました。

